（別紙4（2））

事業所名　東海橋苑グループホーム東起

作成日：　令和 2 年 10 月 5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入居者様、ご家族様との関係をよりよく築いていきたい。	入居者様、ご家族様からの不満の声を軽減し、安心感を持っていただく。	・日常生活から要望を聞き取り、職員へ周知する。 ・ご家族様が面会にみえた際やお電話にてお話させて頂いた際に、入居者様のご様子をお伝えし、ご要望等もうかがう。 ・事故を減らし、安心感を与える。 ・担当者会議の際には、入居者様、ご家族様のお話をしっかり傾聴し、ご要望等をケアプランに取り入れ、実践していく。 ・行事やクラブ活動の日程等の案内をご家族様面会時にお伝えしたり東起だよりに記載する等し、ご家族様にも一緒に参加して頂ける機会を多くしていく。 ※現在新型コロナウイルスの関係で面会中止、担当者会議に関してもお電話にてご家族様に現在のご様子をお伝えした上でご要望等をお聞きしたりしている。ご家族様に参加して頂く行事も中止になっている状態である。この様な状況ではあるが新型コロナウイルスが落ち着いた際には取り組んでいきたい内容である。	12ヶ月
2	13	職員のスキルアップをしていきたい。	個々の教育、内部研修の継続。	・内部研修予定表を元に、実際に行う。 ・講師は職員が行う。 ・必要と思われる外部研修の参加及び教育。 ・外部研修に参加した職員の内部での啓発活動を実践。 ※現在新型コロナウイルスの関係で内部研修の開催を中止とし研修資料をスタッフに配布する形をとっていたり、外部研修に関しては積極的な参加をしていない。この様な状況ではあるが新型コロナウイルスが落ち着いた際には取り組んでいきたい内容である。	12ヶ月
3	48	張り合いや喜びのある日々を入居者様に過ごしていただきたい。一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様にとってもスタッフにとっても良い環境を作っていく。	・入居者様お一人お一人の生活歴やADL状況、趣味、嗜好品等の情報収集をしっかり行い、その方自身の事を知る努力をする。 ・入居者様お一人お一人に喜んで頂ける様な、行事又はレクリエーションを企画する。 ・生活歴やADL状況を踏まえ入居者様に役割を持っていただく。 ・スタッフ自身も笑顔で気持ちに余裕のある状態で入居者様と接する事ができる様、スタッフのメンタルケアにも目を向けていく。	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。